

## 会 報

## 日本熱測定学会 第19回通常総会

日 時 1992年10月29日 17:40~18:20

会 場 早稲田大学国際会議場(第28回熱測定討論会会場)  
総会の成立

総会出席者は委任状(391通)を含めて451名,正会員総数(943名)の1/4をこえるので第19回通常総会は会則第17条により成立することとなります。

## 議 案

1. 1992年度事業報告承認の件
2. 1992年度収支決算承認の件
3. 1993年度役員の内
4. 会則の改正
5. 1993年度事業計画決議の件
6. 1993年度収支予算決議の件
7. その他

1. 1992年度事業報告(1991. 10. 1~1992. 9. 30)

## ① 会員状況 ( ) 内は維持会員数

	1991. 10. 1	入会者	退会者	1992. 9. 30
正会員	892	79	28	943
維持会員	34 (65)	6 (6)	6 (6)	34 (65)

## ② 集会関係

- 1) 委員会 1回(京都1回), 幹事会5回(京都1回, 東京4回), 庶務幹事会(東京2回), 編集委員会4回(東京4回)
- 2) 第27回熱測定討論会(1991. 11. 6~8, 京都)  
発表件数: 一般発表 95件  
(ミニシンポジウム) 15件  
特別講演 3件  
参加者数: 262名
- 3) 第18回通常総会(1991. 11. 7, 京都)  
熱測定 Vol. 19, No. 1 (1992) 50参照
- 4) 第28回熱測定討論会運営委員会1回  
(1992. 6. 25, 東京)
- 5) 第23回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1992. 1. 13~14, 東京) 参加者 111名
- 6) 第24回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1992. 7. 18~19, 京都) 参加者 85名
- 7) 第12回熱測定ワークショップ「表面・界面の特性を熱測定で探る」(1991. 12. 2 東京) 参加者 76名
- 8) 第13回熱測定ワークショップ「TG (DTA) /MS (FTIR) を中心とした加熱時発生ガス分析の最近の動向と問題点」(1992. 6. 24, 東京) 参加者 115名

## ③ 共催・協賛・後援関係

- 共 催: 第35回粘土科学討論会(主催: 日本粘土学会, 1991. 10. 16~18, つくば)  
: 第32回高压討論会(主催: 日本高压力学会, 1991. 11. 20~22, 四日市)  
: 第36回粘土科学討論会(主催: 日本粘土学会, 1992. 9. 3~5, 山梨)

- 協 賛: 第2回食品マイクロコロイドシンポジウム(主催: 食品マイクロコロイド研究会, 1991. 11. 6, 大阪)  
: 第3回食品マイクロコロイドシンポジウム(主催: 食品マイクロコロイド研究会, 1992. 3. 31, 東京)  
: 電子材料の新JISによる熱物性評価法(主催: 日本ファインセラミックス協会, 1992. 2. 21, 東京)  
: 第13回日本熱物性シンポジウム(主催: 日本熱物性学会, 1992. 9. 28~30, 秋田)

## ④ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行

Vol. 18, No. 4, Vol. 19, No. 1~3は各1,150部  
Vol. 18, No. 4 66頁 計本文 216頁  
Vol. 19, No. 1~3 150頁 (別に会告 29頁)

内容: 巻頭言1, 論文7, 総合論文1, 総説7, 解説3, 熱測定応用研究の頁5, その他 レポート, 記事, 会報など, 小特集「熱測定で“探る”シリーズ2 高分子—水系の相互作用」(第11回熱測定ワークショップ報告 Vol. 18, No. 4)

## ⑤ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ(主査: 畠山立子):  
会合1回(京都)会誌「熱測定」に熱測定応用研究の頁に協力
- 2) 熱力学データベース作業グループ(主査: 山内繁): 会合1回(東京)サブグループ(分圧制御ソフト開発作業グループ, 世話人: 脇原将孝): 会合1回(東京)
- 3) BCT (Bulletin of Chemical Thermodynamics) 情報収集作業グループ(主査: 菅 宏)

## ⑥ 国際協力

- 1) 国際学術団体(IUPAC, ICTA, CODATA)との協力など  
IUPAC: 菅 宏(阪大理) I. 2 化学熱力学委員会国家代表  
ICTA: 法人会員  
小沢丈夫(ダイセル化学工業)副会長(1992. 9. より会長就任)  
十時 稔(東レリサーチセンター)評議員  
CODATA: 山内 繁(国立リハセンタ)
- 2) IUPAC国際化学熱力学会議(1996年)の日本誘致誘致準備委員会を準備委員会に組織変え

2. 1992年度収支決算(1991. 10. 1~1992. 9. 30)

項 目	決 算 額	予 算 額
収 入	8,722,175	7,827,000
(I) 会費収入	4,813,000	4,027,000
1. 正会員会費	3,090,000	2,727,000
2. 維持会員会費	1,723,000	1,300,000
(II) 事業収入	3,711,846	3,700,000
1. 会誌発行収入	1,836,178	2,000,000
広告料	1,196,473	
別刷収入	382,962	
購読料	256,743	
2. 討論会収入	375,668	200,000
3. 講習会収入	1,500,000	1,500,000
(III) 雑 収 入	197,329	100,000
支 出	9,200,024	9,312,000
(I) 事 業 費	5,180,733	5,200,000
1. 会誌発行費	4,486,248	4,500,000
印刷代	3,515,318	
別刷代	316,811	
原稿料	374,596	
発送費	279,523	
2. 研究グループ	109,561	80,000
3. ワークショップ・講演会	164,924	200,000
4. 27, 28回討論会準備金	400,000	400,000
5. 国際協力費	20,000	20,000
(II) 管 理 費	4,019,291	4,112,000
1. 会議費	190,939	200,000
2. 会議交通費	602,399	800,000
3. 事務局費	2,472,000	2,472,000
4. 通信費	361,392	280,000
5. 消耗品費	281,726	280,000
6. 雑 費	110,835	80,000
差 引 残 高	△477,849	△1,485,000
前期繰越剰余金	2,648,126	
次期繰越剰余金	2,170,277	

平成4年度特別会計熱測定特別基金

¥4,329,674

3. 1993年度役員 (○印新役員)

会 長	菅 宏 (阪大理)
委 員	○上 平 初 穂 (織高研)
	○沖 野 孝 之 (島津製作所)
	小 国 正 晴 (東工大理)
	○小 棹 理 子 (ソニー学園湘北短大電子)
	○岸 証 (理学電機) 再任
	亀 頭 直 樹 (豊橋技科大物質工)
	城 所 俊 一 (相模中研)
	○木 下 良 一 (セイコー電子工業)
	木 村 隆 良 (近畿大理工)
	○古 賀 信 吉 (広島大学学校教育)
	笹 本 忠 (神奈川工科大工化)
	佐 藤 正 知 (北大工)
	柴 崎 芳 夫 (埼玉大理)
	杉 崎 昌 和 (九大工)
	○高 崎 洋 一 (真空理工)
	○高 橋 一 好 (マックサイエンス)
	○田 村 勝 利 (阪市大理)
	寺 田 勝 英 (中外製薬)
	中 村 茂 夫 (神奈川大工)
	○中 村 利 寿 (東京理工)
	○西 本 右 子 (神奈川大理)
	○八 田 一 郎 (名大工)
	○日 野 出 洋 文 (東工大工)
	○深 田 はるみ (大阪府立大農)
	○前 田 洋 治 (織高研)
	前 田 好 美 (いわき明星大理工)
	○増 田 芳 男 (新潟大教養)
	松 井 博 (兵庫県工業技術センター)
	森 田 善 一 郎 (阪大工)
	○山 口 勉 功 (岩手大工)
	油 谷 克 英 (阪大蛋白研)
	脇 原 将 孝 (東工大工)
	渡 瀬 峰 男 (静岡大教養)
会計監査	○谷 口 雅 男 (神奈川工科大工化)
幹 事	城 所 俊 一 (庶務, 相模中研)
	木 村 隆 良 (企画, 近畿大理工)
	○柴 崎 芳 夫 (庶務, 埼玉大理)
	中 村 茂 夫 (会計, 神奈川大工)
	○深 田 はるみ (会計, 大阪府立大農)
	○前 田 洋 治 (企画, 織高研)
	○増 田 芳 男 (企画, 新潟大教養)
	脇 原 将 孝 (編集, 東工大工)

- 編集委員 脇原 将孝 (東工大工, 無機) (委員長)  
 阿竹 徹 (東工大工材研,  
 低温カロリメトリー)  
 城所 俊一 (相模中研, 生体)  
 西成 勝好 (阪市大生活科学, 食品)  
 橋本 寿正 (東工大工, 高分子)  
 藤枝 修子 (お茶の水女子大理, 分析化学)  
 村上 幸夫 (阪市大理, 溶液)

地域編集委員

- 北海道 古市 隆三郎 (北大工)  
 東北 横林 洋子 (東北大教養)  
 北陸 伊佐 公男 (福井大教養)  
 中部 八田 一郎 (名大工)  
 中国・四国 長尾 眞彦 (岡山大理)  
 九州 占部 美子 (九大工)

4. 会則の改正(下線部が変更点)

第11条 会員は次の種別に従い会費を納入しなければならない。

- 正会員 年額 5,000円  
 学生会員 年額 3,000円  
 維持会員 年額 20,000円(1口)以上

学生会員設置に関連して、文言の改訂

第3章 会員

第5条 会員は正会員、学生会員および維持会員の3種とする。

第6条 正会員は、上記本会の目的に賛同する個人で、幹事会の承認を経て第11条の会費を支払うものである。

第6条

第2項 学生会員は、上記目的に関連した学科を置く学校の課程を履修中のもので、幹事会の承認を経て第11条の会費を支払うものである。

第9章 委員選挙規定

第33条 投票は正会員および学生会員の郵便投票により正会員中より5名連記、無記名で行なう。

第35条 正会員および学生会員は5名以上の連名で推薦候補者を立てることができる。

5. 1993年度事業計画(1992. 10. 1~1993. 9. 30)

① 集会関係

- 1) 委員会2回(東京2回), 幹事会5回(東京5回), 庶務幹事会3回(東京), 編集委員会4回(東京4回)
- 2) 熱測定応用研究グループ会合2回(東京2回), 熱力学データベース作業グループ会合2回(東京), 分圧制御ソフト開発作業グループ会合1回(東京)
- 3) 第28回熱測定討論会(1992. 10. 28~30, 東京) 第29回熱測定討論会運営委員会1回(1993. 6, 予定) (第29回熱測定討論会は1993. 10. 27~29, 長岡グランドホテル予定)
- 4) 第19回通常総会(1992. 10. 29, 東京)
- 5) 第25回熱測定講習会(1993. 1. 22~23, 東京)
- 6) 第26回熱測定講習会(1993. 7, 京都)
- 7) 第14回熱測定ワークショップ「熱分析と速度論」(1992. 10. 31, 東京)  
 第15回および第16回熱測定ワークショップ(テーマ, オーガナイザー募集)
- 8) 講演会「高温カロリメトリーの新展開」(1992. 12. 7, 東京)

② 共催・協賛・後援関係

- 協賛: 第2回「基礎研究の振興と工業教育」シンポジウム(主催: 日本工学会, 1992. 10. 12, 東京)  
 : 新しい粉末回折法(主催: 日本結晶学会, 1992. 12. 1~2, 名古屋)  
 : 食品ハイドロコロイドに関する国際会議(主催: 食品ハイドロコロイド研究会, 1992. 11. 16-20, つくば)  
 : IUPAC化学安全国際会議(主催: 日本化学会, 1993. 5. 31-6. 4, 横浜)

③ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行 (Vol. 19, No. 4, は1, 250部, Vol. 20, No. 1~3と特集号は1, 200部)

④ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ  
 主査: 畠山立子(織高研) 前年度に準ずる
- 2) 熱力学データベース作業グループおよび分圧制御ソフト開発作業グループ前年度に準ずる

⑤ 国際協力

- 1) 活動は前年度に準ずる
- 2) IUPAC国際化学熱力学会議(1996年)の開催準備

6. 1993年度収支予算(1992. 10. 1~1993. 9. 30)

項 目	予 算(円)
収 入	10,220,000
(I) 会費収入	5,920,000
正会員会費(900名)	4,500,000
学生会費(40名)	120,000
維持会員会費(65口)	1,300,000
(II) 事業収入	4,100,000
会誌発行収入	2,400,000
28回討論会収入	200,000
25,26回講習会収入	1,500,000
(III) 雑収入	200,000
支 出	10,220,000
(I) 事業費	6,098,000
会誌発行費(含特集号)	5,400,000
研究グループ	80,000
ワークショップ・講演会	300,000
29回討論会準備金	200,000
国際協力費	20,000
予備費	98,000
(II) 管理費	4,122,000
会議費	100,000
交通費	800,000
事務局費	2,472,000
通信費	360,000
消耗品費	280,000
雑費	110,000
差 引 残 高	0